

「のぶすま」は高尾山頂にある高尾ビジターセンターにて配布しております。ご希望の方は窓口へお申し付けください。

高尾山4コマ漫画 その19  
 解説員アラツの挑戦！  
 マムシの恩返し巻  
 作画：ばん



※ヘビは靴下をひっくり返すように、顔から皮を脱いでいきます

季節のみどころ (開花植物)	
7月	オクモミジハグマ (1・4号路)、ヤマユリ (1号路・一丁平)、ヤブムラサキ (稲荷山)、オオバギボウシ (1号路)、タマアジサイ (どこでも)
8月	イヌショウマ (どこでも)、ヤブミョウガ (1、6号路)、キジョラン (1・3号路)、マツカゼソウ (6号路)
9月	キッコウハグマ (6号路、稲荷山コース)、ツリフネソウ (日影沢)、ヤマホトトギス (1号路、稲荷山コース)、シモバシラ (1・5号路)、キッコウハグマ (6号路、稲荷山コース)

ビジターセンター通信

高尾ビジターセンターのプログラム  
 ビジターセンターでは毎日、以下の時間で山頂周辺を案内して歩くガイドウォーク、高尾山の自然を写真で紹介するスライドショーを実施しています。(先着順。混雑状況、天候、団体予約等により中止の場合あり)  
 ガイドウォーク (約50分)：毎日13時～  
 スライドショー：平日及び12～3月の休日 11:00～ 14:30～ (約20分) 4～11月の休日 10:30～ 11:30～ 14:30～

今後の行事予定  
 10/5 「高尾山の歴史と自然 見て歩き」  
 高尾山の堂塔を巡り、そこに祀られた神仏と歴史に登場する人々、守られてきた自然について学ぶ  
 10/30 「親子で一緒にわくわく！ 秋の高尾山」  
 親子で秋の木の実、木の葉、風景など高尾山の秋を楽しむ

編集後記  
 ヘビが大好き、新人解説員の坂本です。見つかるたびに捕まえられるヘビ達のほうは、「迷惑な人間が来た」と嫌っていることと思いますので、私の愛情はいつも一方通行です。嫌われがちなヘビたちですが、今回の「のぶすま」で、少しでもヘビについて知っていただければうれしいです。

コラム：蛇滝と弁財天とヘビ

ヘビは、その蛇行する様子から、川に例えられることが多い生き物です。  
 高尾山には、「蛇滝 (じゃたき)」という滝があります。この滝の名は、お坊さんに助けられた白ヘビが、滝に姿を変えてお坊さんに修行の場を提供したことが由来だそうです。  
 また、薬王院の中の弁財天のお使いはヘビですが、これも弁財天が川の神様だから。川は豊穡をもたらしてくれるものなので、川の化身である、「蛇の夢を見ると金運が上がる」とか、「蛇の抜け殻を財布に入れておくとお金が貯まる」、などとも言われます。  
 ヘビの抜け殻ならたくさん持っているのですが・・・  
 (坂本)

# ヘビがいっぱい高尾山!

高尾山にはヘビが8種類もいるって、ご存知でしたか? 苦手な人も多いけれど、とっても個性的で素敵な仲間たちですよ。

## 登山道で遭遇!?

気温が高くなってくると、登山道でヘビに出会うことがあります。ヘビを見かけるとビックリしてしまうと思いますが、ヘビたちは日向ぼっこを日に日当たりの良い場所に出てきているだけ。もしも余裕があったら、どんなヘビか見てみてください。

高尾山のヘビ全8種

- 日本が一番大きくなる **アオダイショウ**
- 水辺が好きな **ヤマカガシ**
- 小さくておとなしい **ヒバカリ**
- 4本ストライプの **シマヘビ**
- 夜行性のヘビたち **シロマダラ**
- 幻のヘビ **ミミスガ**
- 意外と臆病!? **マムシ**
- 美しさNo.1!? **ジムグリ**
- タカチホヘビ

**減少中!?**  
 上の8種類のヘビ、実は全てが東京都のレッドデータブックに掲載されています。以前は東京でも身近に見られたヘビが、林や水田の減少で、減ってきています。

※レッドデータブック 絶滅のおそれのある野生生物をリスト化したもの

季刊 高尾ビジターセンターニュースレター  
 のぶすま

2011年夏号  
 Vol. 27

「のぶすま」とは、ムササビの古い呼び名です。高尾山に住む人気者のムササビにあやかっ、て、「のぶすま」とつけました。

「夏」の一言  
 高尾山は暑い! 登山しても、あまり避暑にはなりません。飲み水をお忘れなく。

季刊高尾ビジターセンターニュースレター  
 「のぶすま」2011年夏号Vol. 27  
 東京都高尾ビジターセンター自然解説員作成  
 2011年7月10日発行  
 所在地: 〒193-0844東京都八王子市高尾町2176  
 電話: 042-664-7872 FAX: 042-662-9926  
 URL: http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/  
 (カラー版最新号を閲覧できます)

# 解説員さかもとの 楽しいへびのお話

高尾山にやってきた、何でも聞きたがりの、きくぞう君が登山道でへびに遭遇！  
早速ビジターセンターで、へび好きの新人解説員坂本に質問してみました！

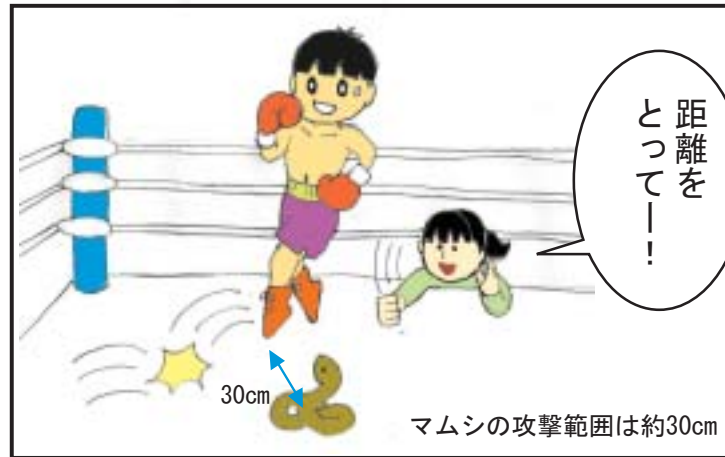
**坂本（坂）**  
高尾ビジターセンターの新人解説員。  
へびをこよなく愛するお姉さんだ。

**きくぞう君（き）**  
怖がりだけど、好奇心旺盛な小学生。  
何でも聞かずにはいられない。

## へびは怖くないよ

き「さっき道にへびがいて、すごく怖かった！  
へびに襲われないためにはどうすればいいの？」

坂「へびは臆病だから、自分から人を襲ってこないわ。  
毒へびとして有名なマムシだってそう。  
みんな人間に気がつくとか静かに逃げていくから、  
そっと見守ってあげてね。」



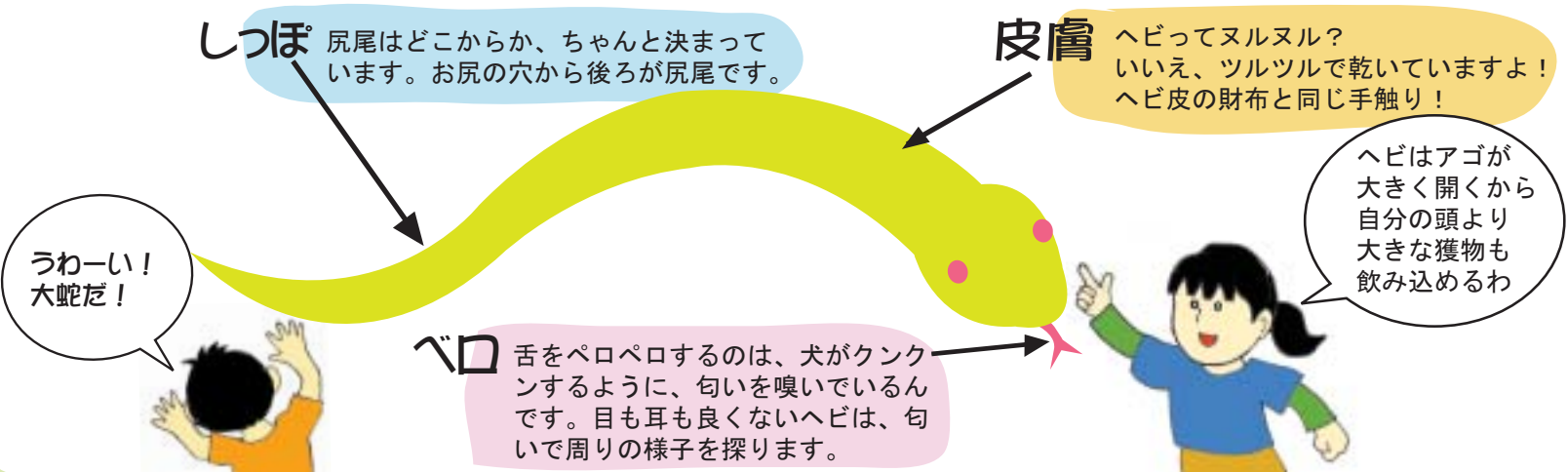
き「絶対がまれない？」  
坂「気付かず踏んじったりすると反撃してくることもあるわね。  
無毒のへびなら牙がないから、普通のすり傷と同じように  
よく洗って消毒し、絆創膏を貼っておけば大丈夫。」  
き「じゃあマムシだったら？」  
坂「慌てず落ち着いて毒を出し、救急車を呼ぶか、無理な場合は  
毒がまわらないようにゆっくり歩いて病院に行ってね。」

※咬まれても、病院で適切な治療を受ければ死ぬことはまずありません。

き「へびのことが少し怖なくなってきたよ。」  
坂「じゃあ今度は私と一緒にへびを観察してみましょう。」

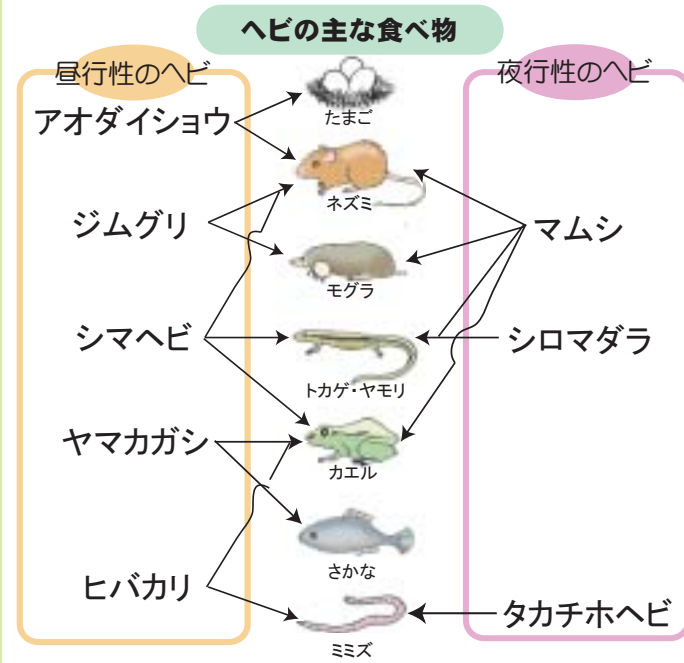
## へびの体の不思議をご紹介！

坂「へびはとっても面白い動物でもあるんだから。」  
き「へー！ベロで匂いを嗅いでるんだー！どんな食べ物を探すのかな？」



## へびの食べ物

き「へびって何を食べてるの？」  
坂「へびにはそれぞれに違った特技と食べ物があるの。」



き「へびってこんなにいろんなものを食べているんだー！」  
坂「だから、へびはたくさんの生きものたちの住む、自然が豊かな場所じゃないと暮らせないの。」

## 高尾山にへびがいる意味

き「じゃあ高尾山にはネズミとかトカゲとか小さな生き物もたくさんいるんだね。」  
坂「へびは食べるだけじゃないわ。たくさんの動物たちに食べられてもいるのよ。」  
き「へびも他の動物たちのエサになるの!？」  
坂「そうよ。イノシシにタヌキにテン、それに鳥たちとか・・・。」  
き「そんなに!？へびはいろいろな動物と関わって生きているんだね。」  
坂「高尾山には多くの生き物たちが住んでいて、  
バランスを取り合いながら暮らしているの。へびもその一員なのよ。」

